

2020（令和2）年度 あんずの家事業報告書

はじめに

令和2年度は、昨年度末から引き続いて新型コロナウイルス感染防止対策に追われた1年であった。施設内、利用者・職員の手指、送迎車は朝、昼、夕と消毒を行い、送迎車乗車前の体温測定、サービス提供時間中のバイタルチェックや体調チェックも朝昼行い、通常と違う様子や高い数値が出た人は、何度も計測して経過観察するなどの徹底した健康管理を行った。また、ご家族にも、感染拡大地域への移動の自粛や、感染拡大地域から来た人との接触を控えてもらえるよう協力を依頼するとともに、感染対策方法についての情報提供や注意喚起を行ってきた。こうした利用者・利用者家族の協力、職員の努力により、感染者ゼロで年度を終えることができたことに感謝したい。

そして、感染防止対策に必要なサージカルマスクや消毒用アルコールが市場から消え入手困難な時に、福山市から先の物品の支給があり大変ありがたかった。その後、国からも布マスクや消毒用アルコールが頻回に支給され、徹底した対策を行うことができた。この他、飛沫による感染を防止するために有効なパーテーションや、サーキュレーター等の物品の購入費用や、食事場所を2か所に分散したことから作業室の手洗い場にお湯が出るよう整備する費用として、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を受領することができ、自己負担金なしで用具を整備することができたことにも感謝したい。

こうしたこれまで経験してこなかった対策や、様々な場面を想定してのシミュレーションを行い、平常時の対策や濃厚接触者が発生した際の対応、休業・再開の判断など事業を継続していくための手順を定めた「新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続計画」を策定したが、今後、新型コロナウイルスに対する新たな知見や、職員体制、利用者の変動に伴って、その都度見直しを行っていかねばならない。

こうしたコロナ禍にあっても、これまで通りの活動ができるよう基本方針である「利用者さんの主体性が活かされ、ご本人（家族）のニーズが優先されるよう支援する。」に基づき、個人支援計画を作成し、お一人おひとりの自己実現に必要な支援を行った。利用者さんのニーズから「さをり織や音楽などの活動を中心とした利用」と「レクリエーションや健康管理を中心とした利用」の2つのグループに分けることで、利用の目的を達成できるよう努めた。施設内での活動は支障なく行えたので、さをり織では、敬老会記念品のための布を提供したり、マスクを製作販売したりした。マスクは800枚以上を売り上げ、イベントでの販売、コンサート出演料の穴を埋めるには十分すぎる売り上げとなり、生産活動の収支では3期ぶりに黒字となった。

職員体制においては、年間を通して2.0：1の職員配置を行い支援に当たったが、年度末には看護士が1名となり複数配置が崩れたが、感染症対策に加え、医療的ケアが必要な人への支援、ほかの利用者の健康管理を行うことができた。

施設整備においては、入浴用ライナーリフトが経年劣化から入替が必要となり、入浴サービスを止めることなく新しい装置に交換した他、ライナーリフト用シャワーチェアも経年劣化による修理を行い、安全で安心して入浴サービスが提供できるよう整備した。

1 利用者の支援

(1) 日常生活を支える

- ①食事：個々の年齢や咀嚼の状況に応じて、刻み食やミキサー食の提供や、その時々体調による申し出により、おかゆなどの提供も行った。業務委託先の日米クックとは、調理の具合により濃すぎる味付けの際には減塩を求め、利用者の嗜好に合わない献立に対しては提供の中止を申し入れたりして、安全で美味しい昼食の提供に努めた。
- ②排泄：トランスファーや衣服の着脱、後始末、オムツ交換など自分の力ではできないことや、安全のために必要な介護を行い、快適に過ごしていただけるように支援した。
- ③入浴：希望者に週2回を目安に、入浴前にはバイタルチェックを行い、健康状態を確認して実施した。皮膚疾患の発見や、薬の塗布等、家庭と連携をとりながら適切な対応に努めた。
- ④健康管理：年度初めに、緊急時情報カードの書き換えを行い、服薬等の情報を最新のものにし、服薬管理及び救急搬送時への備えを整えた。
- また、感染症の予防対策として、登所時の手指消毒、排泄後、昼食前の手洗いと消毒を年間通して行うと同時に、到着後には、血圧、体温、SP02のバイタルチェックを行い体調管理に努めた。この他、体重測定を月1回実施し、体重が大幅に減少している人には、かかりつけ医での検診を勧め、原因の早期発見に努めた。
- ⑤医療的ケア：あんずの家における医療的ケア実施要綱に基づき、胃ろう、喀痰吸引の医療的ケア実施希望者4名に医療的ケアを実施した。実施にあたっては、保護者が家庭において実施されている手順、内容と違いがないよう情報交換を密にした。

(2) 活動を支える

①生産活動【総収入額：1,230,883円／総支出額：1,074,443円】差引156,440円

※前期末支払資金残高と合わせて当期末支払資金残高は1,438,206円。

・さをり織り【売上高：912,402円 原材料費：251,575円 差引660,827円】

令和2年度も市内の施設で共同受注した福山市敬老の日特別記念品制作において、布の提供を行うことができた。それに加えてマスクが市場から消えた頃、「さをりマスク」の製作販売を始めたところ、つけ心地、デザイン性、耐久性で優れていたことから、口コミでの購入が広がり、広島県福祉大会の記念品として使われるなどで計800枚以上の販売となり、収入増の最大の要因となった。

・音楽【出演料：10,000円】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、14年続いていた御幸でのハートフルコンサートが中止となるなど、今年度も対面でのコンサートは1回のみとなった。しかし、文化庁が主催した「日本博を契機とした障がい者の文化芸術フェスティバル in 中国・四国ブロック」に広島県を代表してDVDでの参加を行った。このコンサート自体、無観客でWEBでの配信となったことから、観客の反応を見ることはできなかった。参加のためのDVD製作に係る費用の補助金として主催団体より20万円をいただいた。また、暁の星女子中学校でのコンサートは、中学校からの依頼によりWEBでのライブ配信を行った。WEBで演奏を届けるのは初のことで、観客の反応が伝わってこないことで高揚感は薄かったが、コロナ禍に中で表現できる場を得られたことは、大きな励みとなった。年度末には、ピースライオンズクラブの交流事業として、25名の会員さんにあんずの家で演奏を行うことができ、1年9か月

ぶりにたくさんの拍手を頂戴し、充実感や達成感を味わうことができた。

- ・印刷（カレンダーなど）【売上高：305,490円 原材料費等：231,000円 差引74,450円】

10月中に350部を製作し販売を始め、利用者家族をはじめ、例年購入いただいている団体などのご協力により目標の300部を販売することができた。

※上記の生産活動にかかわった利用者へ、工賃として年間588,648円支給した。

②レクリエーション

- ・利用者さんお一人おひとりが、集団の中で楽しめるようゲームを考案し実施した。その中で参加する喜びや、勝つことの嬉しさを味わっていただけるよう支援した。また、個々の楽しめることにも取り組んでもらおうと、個別の活動も行った。

2. 利用者の状況

(1) 月別利用状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	22	21	22	23	22	22	23	22	21	21	20	23	261
基準人数	440	420	440	460	440	440	460	440	420	420	400	460	5240
登録者数	21	21	21	20	20	20	19	19	19	19	19	19	—
延利用者数	387	360	377	366	355	362	387	348	326	348	342	395	4353
利用率	87.9%	85.7%	85.6%	79.5%	80.6%	82.2%	83.4%	79.0%	77.6%	82.8%	85.5%	85.8%	83.0%

※基準人数：4月、6月、7月、8月、9月、11月は基準開所日数を22日、7月、10月、3月の基準開所日数は23日、5月、12月、1月は21日、2月は20日とし、その日数に定員20人を乗じて算出している。

※利用率：延利用者数を基準人数で除して算出している。

令和2年度は、登録利用者21名でのスタートとなったが、6月中に1名が他事業所へ、10月には1名が入所施設へ移行した。新たな利用はなかったが、新型コロナウイルスによる影響は少なく、利用を継続していただけたことで、昨年度より0.4%ではあるが、平均利用率を上げることができた。

(2) 障害程度の状況（2021年3月31日時点での在籍者数19人）

単位：人

	障害支援区分					身体障害者手帳				療育手帳			
	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	1級	2級	3級	6級	㉠	A	㉡	B
男	8	3	0	2	0	9	1	2	1	2	3	1	2
女	5	1	0	0	0	4	2	0	0	1	0	0	2
計	13	4	0	2	0	13	3	2	1	3	3	1	4

※障害程度区分、身体・療育手帳、いずれの欄も、障害程度は左が最も重い障害となっている。

障害支援区分の更新に際しては、新しい認定項目に基づいてシミュレーションを行い、従来の区分が維持できるよう情報提供を行った。年度途中で1名が上位区分へ変更となった。

(3) 年齢別利用者の状況

単位：人

年齢	～20	21～25	26～30	31～35	36～40	41～50	51～60	61～
男	0	2	1	1	3	2	3	2
女	1	0	0	0	0	1	2	1
計	1	2	1	1	3	3	5	3

※ 平均年齢 44.0 歳 最年少 19 歳 最高齢 67 歳

3. 発表の場

《音楽活動》

2020年9月6日(日)	日本博を契機とした障がい者の文化芸術フェスティバル in 中国・四国ブロック	鳥取県倉吉未来中心 DVDでの参加
2021年1月28日(金)	暁の星女子中学2・3年生へのコンサート	あんずの家からWEB配信
2021年3月30日(火)	ピースライオンズクラブコンサート	あんずの家

《芸術活動》

2020年10月27日(火)～11月1日(日)	あいサポートアート展	広島県立美術館
2020年11月17日(火)～11月22日(日)	あいサポートアート展	ふくやま美術館

4. 販売の場（さをり製品）

コロナ対策のため中止	虹の手織り展	天満屋シティギャラリー
不定期	イベント等での委託販売	トータルライフサポート

5. 交流の場

コロナ対策のため中止	暁の星女子中学校クリスマス奉仕	あんずの家
------------	-----------------	-------

6. 年間実施行事

2020年4月2日(木)	お茶会	あんずの家
2020年4月3日(金)	お花見	駅家公園
2020年10月1日(木) 10月2日(金)	秋の遠足	福山市立動物園
2020年10月21日 (木)	体を動かそう！（インストラクターを招いて）	あんずの家
2020年11月4日(水)	秋を探して～バラ見学～	福山 SA
2020年12月24日(火)	クリスマス会	あんずの家
2021年1月7日(木)	書初め	あんずの家
2021年1月9日(土)	初詣	新市天王社

《自衛消防訓練》

実施月日	8月31日(月)・1月14日(木)
------	-------------------

7. 実習受入

介護体験	中止	職場体験(中学生)	中止	実習(特別支援学校)	1人
------	----	-----------	----	------------	----

8. 苦情件数

令和2年度における苦情件数は0件で、施設内での事故も0件であった。